湖風（うみかぜ）

NALCびわこ彦根・広報誌
第１１５号・平成28年8月10日
彦根市後三条町１２５（安田武雄方）
電話＆FAX０７４９・２３・２５３７
編集・発行責任者・小林　　博

親を断捨離その２

３．75歳以上は延命治療を控える

問題の根源は医学の進歩（医療の高度化）と、人口の高齢化にある。高齢者はがんに限らず病気が多く、医療費もかさむのに、制度を支える働く世代は減る一方である。75歳で延命治療を中止するというのは大胆かもしれないが、年齢で区切る以外の方法は思いつかないし、他に破綻を回避する方法はない。

米国方式では、負担できない人は高度医療を受けられない。結果的には貧しい層を切り捨てることになる。オバマケアがその結果である。医療費を国庫負担でまかなう英国では、一定以上の医療は保険適用されず、大多数の国民が平等をあきらめよう、という制度である。今般のEU離脱問題の本質もこんなところにある。

４．他に良策は在るのか

それなら、何もしない、誰も切らないということはとりもなおさず次世代を切り捨てるという選別をするのと同じである。多くの医師は、薬価や次世代の事を気にしながら投与していることはない。憲法25条が保障する「最低限度の生活」には、高額の薬を使うことまで想定はしていなかった。

人間はどこまで生きる権利、又は、義務があるのか、何のために生きるのか、それを考えておくべきであった。今の国民皆保険制度は、非常によくできたシステムだ。今のまま破綻にしないで続くのであれば、それほど、幸せなことはない。何かを変えると、誰かが負担や不利益を被る。それを直視出来ないから皆な気づかないふりをしている。議論を避けているだけである。これは、親を断捨離の考え方の一つです。　　（安田）

びわこ彦根広報板

［定期総会】

8月23日（火）PA１０：００～

〔６月の活動記録〕

時間外預託点数　６点　（１人）
奉仕活動点数　　３点　（３人）

〔運営委員会・月例会〕

実施　　７月７日（火）ＰＭ１：３０～
予定　　８月　２日（火）ＰＭ１：３０～

〔５月度の経過報告〕

*サロン開催実績
おしゃべり４回２３名　パソコン０回
卓球３回８名　読書１０人１４冊
チビッコサロン　３組６名

〔助け合い〕　０件

〔福祉調査センターの活動〕

実施　　７月　３件
予定　　８月　０件

〔連絡事項〕

・８月２３日（火）午前１０時～定期総会を行います。
『議題」は、びわこ彦根の活動として行っている「おしゃべりサロン」と今後増加する予定の「第三者評価」について検討をお願いします。会員の出席をお願いします。
・同日、午後２時から法政大学の落語研究会の披露が行われる予定です。
・「親を断捨離その２」として国頭秀夫さん（日赤医療センター化学療法科部長）の主張を参考に投稿したものです。